

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	一般廃棄物処理広域化推進事業			事業コード	2354
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課	担当係名		
	課長名	千葉 良高	担当者名	島山 俊明	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード	6	施策	生活環境の保全	コード	1
	基本事業	環境衛生の確保	コード	1	関連予算費目名	一般会計 4款 2項 1目 総務事務(001-01)		
	特記事項							
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (21年度 ~ 29年度)							
事務事業の概要	<p>平成12年1月に策定された「盛岡ブロックごみ処理広域化推進計画」に基づき、ダイオキシン類の削減等による環境負荷の低減や処理の効率化を図るため、盛岡地方振興局管内の一般廃棄物処理施設を集約し、広域で処理をすすめようとするものであり、盛岡地方振興局管内の市町村、一部事務組合及び岩手県により構成されている「県央ブロックし尿・ごみ処理広域化推進協議会」において、広域化の方法や課題について協議を進めることとしている。</p>							
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
<p>この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)</p> <p>平成11年3月策定の「岩手県ごみ処理広域化計画」に基づき、12年1月に「盛岡ブロックごみ処理広域化推進計画」を策定し、「県央ブロックごみ処理広域化準備協議会」を設立し、関係自治体で協議を開始した。</p>								
<p>この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか</p> <p>関係自治体は、一般廃棄物処理の広域化を進めるという基本的な方向では一致している。しかしながら、現在の施設が老朽化し施設整備を急ぐ自治体がある一方、比較的施設が新しく喫緊の整備を必要としない自治体があり、整備時期や施設数、広域化の方法について、さまざまな意見が出されている。</p>								
<p>事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したが。今後の見通しはどうか</p> <p>廃棄物処理施設の整備については、広域化を前提とした整備計画が交付金対象となることとなっている。また、一方では、施設の長寿化についても、国の交付金の対象となる方向にある。このことから、広域化の整備を進めるに当たっては、交付金を有効に活用できるよう、現在の施設の状況を踏まえながら、広域化施設のあり方や整備スケジュール、整備実施主体などの整備計画について、協議していく。</p>								

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	管内の廃棄物処理施設で処理している一般廃棄物	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 管内の一般廃棄物処理施設で処理するごみの量	単位	t
				B. 管内の廃棄物処理施設で処理するし尿・汚泥の量	単位	kl
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>22年度実績(22年度に行った主な活動)</p> <p>準備協議会において今後の広域化を推進していくための組織の立ち上げについて協議し「県央ブロックごみ・し尿広域化推進協議会」を設立した。</p> <p>23年度計画(23年度に計画している主な活動)</p> <p>基本調査を基に事業主体の立ち上げや広域化基本構想の策定について推進協議会において協議する。</p>	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 協議を行った回数	単位	回
				B. 設計業務の進捗率	単位	%
				C. 建設工事の進捗率	単位	%
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	環境にやさしく効率的な廃棄物処理をおこなうための環境を整える	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 管内の焼却処理施設数	単位	施設
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
				B. 管内のし尿処理施設数	単位	施設
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
				C.	単位	
				【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	管内の一般廃棄物処理施設で処理するごみの量	t	188,394	184,348	189,513	189,513	187,857	186,280	29年度 178,917
対象 指標B	管内の廃棄物処理施設で処理するし尿・汚泥の量	kl	125,134	122,206	113,150	102,108	104,025	105,850	29年度 84,315
対象 指標C									年度
活動 指標A	協議を行った回数	回	7	11	6	6			年度
活動 指標B	設計業務の進捗率	%	0	0	0	0			年度
活動 指標C	建設工事の進捗率	%	0	0	0	0			年度
成果 指標A	管内の焼却処理施設数	施設	6	6	6	6			年度
成果 指標B	管内のし尿処理施設数	施設	3	3	3	3			年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	3,107	0	0		10,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	3,107	0	0	0	10,000	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	3,107	0	0		10,000	*****
	延べ業務時間数	時間	140	480	480	480	1,920	1,920	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	560	1,920	1,920	1,920	7,680	7,680	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	560	5,027	1,920	1,920	7,680	17,680	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている 理由: 適正かつ効率的にごみを処理することが可能になる
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である 理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 一般廃棄物処理施設の整備は市町村の責任で行うべきものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である 理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 岩手県ごみ処理広域化計画で定められた県央ブロック内の一般廃棄物を対象としており妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である 理由: 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 廃棄物処理施設を更新するに当たり、広域的な処理とすることにより、環境に与える影響や効率的な運営を考慮に入れながら進めることとしており、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない 理由: 廃棄物処理施設の整備を広域で行うに当り、コスト面での軽減のほか、環境に与える付加の低減や熱エネルギーの有効活用、事業実施主体等について検討しながら進めている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある その内容: 管内の市町村の一般廃棄物処理施設は、現在の施設の状況により時期に差は生じるものの、いずれは更新が必要となり、広域化を行わない場合は、それぞれの自治体が現在の施設を更新しなければならなくなり、廃棄物処理に係るトータルコストが高くなり、非効率的である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない 事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない 理由: 効率的な収集運搬から処理を行うための施設整備の方針を決定していくこととしており、事業推進に必要な事業費については協議会の中で協議される。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない 理由: 事務局として担当職員を配置して新たな施設の整備構想や計画策定について、本格的な検討を行うことから、人件費の削減余地はない。なお、施設整備や運営主体、一部事務組合の再編や広域連合、PFIなどの手法については、今後検討される。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない 理由: _____
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない 理由: _____

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 21年度に行った基本調査結果をもとに、最も効率的で環境にやさしい施設の整備(広域化)を行っていくために定期的に会議を開催し協議・検討を進めていく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ・関係自治体では、それぞれ廃棄物処理に関して、施設の老朽化に伴う処理の限界や施設整備の際の住民との約束等の課題を抱えている。 ・いつどこにどのような施設を整備するのかということに関する意思決定が大きな課題となる。これらの課題について、透明性を確保するとともに、住民の理解を得ながら、対応して行く必要がある。</p>
----------------	--

5. 課長意見

一次 評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>県央ブロックごみ処理広域化準備協議会に出席し、広域化の推進に向けた新たな組織の立ち上げについて協議し、「県央ブロックし尿・ごみ処理広域化推進協議会」を立ち上げた。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後 の方向 性と 改革 改善 案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>平成11年3月に策定された「岩手県ごみ処理広域化計画」を受け、12年1月に策定された「盛岡ブロックごみ処理広域化推進計画」に基づき、盛岡広域振興局管内の一般廃棄物処理施設を集約し、環境負荷の低減や処理の効率化を図ろうとするものであることから、構成された局管内の市町村、一部事務組合及び岩手県により構成された「県央ブロックし尿・ごみ処理広域化推進協議会(会長:盛岡市長)」において、事務局として具体的に広域化について協議を進めていく必要がある</p>														